

特定非営利活動法人アート NPO リンク

2018 年度 事業報告書

●事業報告要旨

アート NPO リンクの組織体制や活動が大きく変化した 2016 年度から 3 カ年が経ちました。2018 年度は、2015 年度に浜松で開催して以来、休止となっていた全国アート NPO フォーラムを八戸市との共同主催により開催し、また、アート NPO データバンク 2018-19「実践編！アートの現場からうまれた評価」も発行することができ、アート NPO リンクが企画制作の主体となって行う事業を再開することができました。

なお、2018 年度も引き続き受託事業の活動をして参りました。アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）の委託による「Tokyo Art Research Lab「検証・言平価プログラム」における実績調査検証」では、「Tokyo Art Research Lab」の 8 カ年に及ぶ事業の成果や効果の検証と考察を行い、えずこ芸術のまち創造実行委員会の委託による「えずこホール（仙南芸術文化センター）事業評価調査」では、「えずこ芸術のまち創造事業」の効果の検証を行うため、事業実績の整理、アンケート調査、ヒアリング調査、パブリシティ効果、経済波及効果等を行いました。

また、文化芸術基本法の改正を受けて、地方公共団体の文化芸術を推進するための基本計画の策定に、多様なアート活動の担い手や市民の意見を反映させるために対話の場を設けるなど、今後のアート NPO リンクのネットワークをより広げ、多様なセクターのパートナーとの連携や協働の可能性を開く活動を展開しました。

なお、2018 年度では、事務局運営の改善にも努めました。引き続き、人的体制や経営基盤が脆弱な状態が続いている中で、残されている課題を一つずつ処理していきたいと考えております。

アート NPO リンクの 2018 年度事業は、以下の事業を実施しました。

●昨年度の事業概要

フォーラム事業

全国アート NPO フォーラム in 八戸

ワークショップ事業

福岡市文化芸術振興ビジョンを語る会

国際交流事業

該当事業なし

情報収集・発信・調査研究事業

アート NPO の運営実態調査+アート NPO データバンク 2018-19「実践編！アートの現場からうまれた評価」（受託）ほか

コーディネート事業

特定非営利活動法人地域サポートわかさ:協働アート NPO コーディネート業務(受託)

その他目的を達成するために必要な事業

該当事業なし

● 事業内容

フォーラム事業

全国アート NPO フォーラム in 八戸 (主催、企画制作)

市民やアーティストが集い、さまざまなアイデアに満ちたアートの現場づくりを推し進めてきた人々、アーティスト、市民、企業、行政などが、垣根を越えて集い、全国各地での活動の真意を伝えあうことを通して、『地域とアート』のこれからを拓くことを目的として実施しました。地域の魅力を発掘・発信し、市民みんなでつくる複合文化施設として開設 8 周年を迎える「八戸ポータルミュージアムはっち」をはじめ、地方都市の特性を活かした多様なプロジェクトを官民で展開している、青森県八戸市で開催しました。(2019.2.9, 10)

トピック 1 登壇者

平岡 オリザ (平岡オリザ)

加藤 雅典 (加藤雅典)

小林 真 (小林真)

トピック 2 登壇者

平岡 雅典 (平岡雅典)

特定非営利活動法人アート NPO ネット

アート・アディ・ネットサークル (AAN)

全国アート NPO フォーラム 2019 in 八戸 「地域とアート」のこれからを拓く

2019年2月9日(土)・10日(日)

八戸ポータルミュージアム はっち (青森県・八戸市)

すべてのプログラムは参加無料です

ワークショップ事業

福岡市文化芸術振興ビジョンを語る会（後援）

福岡市が2008年に策定した「福岡市文化芸術振興ビジョン」の10年間の計画推進期間が経過したことを受けて、次期10年間の文化芸術振興計画を策定するにあたり、福岡でアーティストやアートマネジメントなど文化芸術活動の実践者や文化政策の研究者15人が呼びかけ人となって「福岡市文化芸術振興ビジョンを語る会」を開催し、そこで集約した意見を福岡市経済観光文化局文化振興課に届けました。

行政と民間の立場を越えて、これからの福岡市の文化芸術環境のビジョンを共有する手がかりとなりました。(2018.8.16)



アート NPO の運営実態調査＋アート NPO データバンク 2018-19「実践編！アートの現場から生まれた評価」(受託)

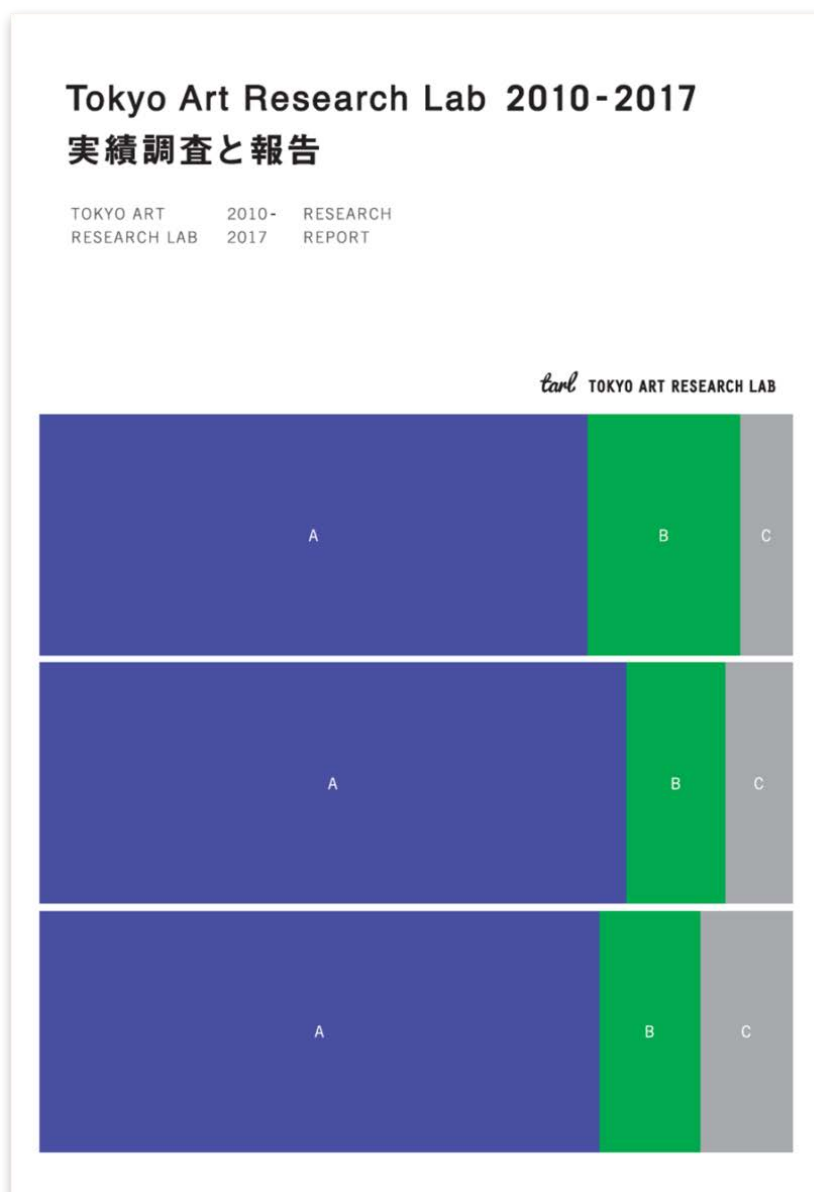
文化庁の平成 30 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として実施しました。具体的には、アート NPO 法人の設立数調査、アンケート調査の実施及び回収、集計、検証、インタビュー、寄稿の実施、データバンクの編集、作成、配布を行いました。

成果物である報告書「アート NPO データバンク 2018-19」の PDF データはホームページからもダウンロードすることが可能となっています。今後、本報告書を参照しながら評価に取り組む実践現場が新しく生まれることが期待されます。(2018.5～2019.3)



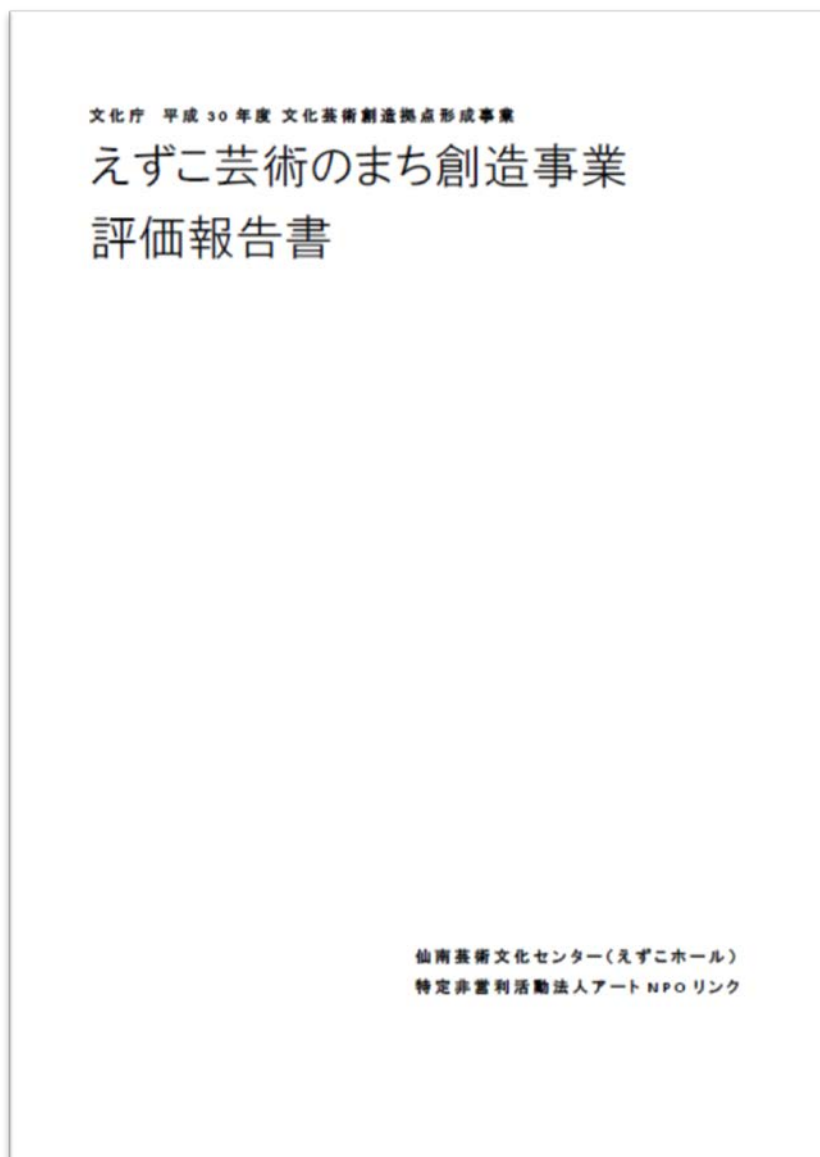
**アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）「Tokyo Art Research Lab
「検証・言平価プログラム」における実績調査検証」（受託）**

東京都及びアーツカウンシル東京が実施する「Tokyo Art Research Lab」の2010年度から2017年度まで事業の成果を踏まえ、事業実績データや受講生へのアンケート、関係者へのヒアリング調査を行うとともに、その結果を基にした検証、考察し、8か年の事業の結果、成果、波及効果を総括する調査検証作業を行いました。（2018.11～2019.1）



えずこ芸術のまち創造実行委員会「えずこホール（仙南芸術文化センター）事業評価調査」（受託）

2018年度の「えずこ芸術のまち創造事業」の効果の検証にあたって文化芸術の「本質的価値」、「社会的価値」、「経済的価値」に着目し、その効果の検証を行うため、事業実績の整理、アンケート調査、ヒアリング調査、パブリシティ効果、経済波及効果等の調査を行いました。（2018.4～2019.3）



このほか、以下の調査研究を受託しました。

- 文化庁と女子美術大学との共同研究事業「アーティスト・イン・レジデンスに関する調査事業」（2018.7～2019.3）
- 一般社団法人楽友協会おきなわ「音楽体験を通じた不登校児童・生徒の社会的接点をつくる音楽プログラムの検証に関する調査」（2018.4～2019.3）

コーディネート事業

特定非営利活動法人地域サポートわかさ：協働アートNPO コーディネート業務（受託）

沖縄県那覇市の若狭公民館の指定管理団体である特定非営利活動法人地域サポートわかさが、隣接する曙地区において実施する移動式屋台型公民館（パーラー公民館）の活動で、地域の実態に即した創造的なワークショッププログラムを開発するために、アーティストやアートNPOとのコーディネートを行いました。また、移動式屋台型公民館の利用の実態調査やワークショップ参加者に対するアンケート調査を行い、本事業の評価、検証を行いました。（2018.7～2019.2）

パーラー公民館の評価・検証調査

報告書

平成 31 年 2 月

特定非営利活動法人地域サポートわかさ
特定非営利活動法人アートNPOリンク

事務局からの報告

2018年度は、ウェブサーバー及びドメイン管理について集約を行いました。また、メーリングリストにつきましても Google を活用し、新たなメーリングリストで情報を共有することといたしました。

銀行口座につきましては、インターネットバンクに集約を行い、従来口座を開いていた銀行については解約を行いました。一部、解約が遅れていましたみずほ銀行等も 4 月で解約を完了しております。

銀行口座届け出の住所変更及び口座名の変更も行いました。